

2021

令和3年度 事業活動のご報告

世田谷区立
保健医療福祉総合プラザ

保健医療福祉の拠点
うめとぴあ

世田谷区立
保健医療福祉総合プラザ
Setagaya Medical Services and Welfare Plaza

世田谷区立保健センター
世田谷区福祉人材育成・研修センター
世田谷区認知症在宅生活サポートセンター
世田谷区医師会初期救急診療所
世田谷区休日夜間薬局

東京リハビリテーション
センター世田谷
Tokyo Rehabilitation Center Setagaya

一般社団法人
世田谷区医師会
Setagaya Medical Association
世田谷区医師会立
看護高等専修学校
Setagaya Nurse Training College

令和3年度の事業活動 2021

世田谷区立保健医療福祉総合プラザは、地域福祉の取組みを推進する複合施設として様々なイベントや事業を実施しています。

令和3年度は、うめとぴあ内の各施設・事業所との連携事業の充実に取り組むとともに、新たな区民参加の機会を創出しました。また、世田谷区の新型コロナウイルス感染症対策の一環として、施設の一部が区民や医療従事者のワクチン集団接種会場になりました。このことにより、多くの区民の皆さんに新しいこの施設を知っていただくきっかけにもなりました。



生演奏で
くつろぎのひととき

連携事業の推進

区立
保健センター

保健医療福祉
総合プラザ

認知症在宅生活
サポートセンター



写真展の開催も

世田谷区医師会

保健・医療・福祉の拠点
うめとぴあ

福祉人材育成・
研修センター

世田谷区医師会
初期救急診療所

世田谷区
休日夜間薬局

東京リハビリ
テーションセンター
世田谷

貸出会議室等の運営

館内には貸出施設として、区民活動支援会議室、研修室、実習室があります。令和3年度の利用者満足度調査では「好ましい受付対応で研修室も明るく気持ちよく利用している」「きれいに清掃されていて良い」などの声があり、今後も快適に利用していただけるよう取り組んでいきます。



区民活動支援会議室



調理実習室

ワクチン集団接種会場への協力

令和3年4月以降、区民や医療従事者への新型コロナウイルスワクチンの集団接種会場として研修室等を転用し、世田谷区や世田谷区医師会による多数の方へのワクチン接種が行われ、ワクチン接種の推進に大きく貢献しています。ゆとりある空間を活かし、落ち着いて接種が受けられるよう会場の円滑な運営を支援するとともに、待機スペースでは様々な事業の掲示やチラシ配布、動画映写等による広報活動も行っています。



会場の様子

<http://www.setagayaku-hokencenter.or.jp/>

世田谷区立保健センター

専門スタッフが健康づくりや障害に関する相談支援に対応

区民のこころとからだの健康づくりを支援するため、様々なスタッフが専門性を生かし、日々の運営にあたっています。また、検診をはじめとするがん対策事業や、地域の医療機関の後方支援として、保険診療によるMRI・CT検査等の各種精密検査を行っています。専門相談機関として、障害者専門相談、乳幼児育成相談、高次脳機能障害相談支援も実施しています。



健康情報紙
「げんき人」年4回発行

……………[総合プラザとの連携事業]……………

安心して会話を楽しめるひとときを 失語症サロン

失語症会話パートナーや、失語症者向け意思疎通支援者が会話をサポートする集いを開催しています。言語聴覚士やソーシャルワーカーも参加して、失語症のある方やその家族、支援者が安心して会話を楽しめるひとときを提供しています。

対 象 世田谷区在住で失語症のある方とその家族、支援者
開催日 毎月第3水曜 午後2時～午後3時
場 所 ふれあいカフェ うめとぴあ



参加方法をわかりやすく掲示

視覚障害者が点字を紹介、楽しく練習 点字カフェ

専門相談課とNPO法人世田谷区視覚障害者福祉協会の協働により、点字をやさしく紹介し、楽しく練習します。視覚障害のある方の生活やサポート方法等も学べる場です。

対 象 世田谷区在住の方
開催日 毎月第3火曜 午後2時～午後3時
場 所 ふれあいカフェ うめとぴあ



名前や住所を点字打刻して、講師が確認

測定結果に基づく健康づくりを個別指導 区民の必要とする様々な相談にも対応

「健康度測定」は、医学的検査や体力テスト、食生活、活動状況、ストレスチェック等の生活状況調査の結果と、長年蓄積したデータに基づき、こころとからだの両面からその人に合った健康づくりをアドバイス。医師による総合判定をもとに運動指導員や管理栄養士、保健師と連携し、健康生活を提案します。これらのデータを基に、健康づくりのヒン

トをホームページで紹介しています。また、「がん」に関する相談や、気持ちが不安になったときの「こころ」の相談を専門相談員やピア相談員が対応するとともに、がんやこころの健康に関する「情報コーナー」を設置しています。障害者相談支援事業では、関係機関と連携しながら、様々な専門職が多様なニーズに対応しています。



保健センターの
キャラクター「げんき人」

<https://www.setagaya-jinzai.jp/>

世田谷区福祉人材育成・研修センター

福祉人材の確保・育成・定着支援を総合的に推進

福祉の理解の推進と世田谷区の福祉人材の確保・育成・定着に総合的に取り組み、併設の研修室や介護実習室、調理実習室を活用し、専門知識や技術の向上に向け各種研修を実施しています。ハローワーク等と連携し、区内福祉事業所への就職・相談面接会や介護施設見学会の開催、また、福祉事業所の介護ロボット・ICT等先駆的な取り組みの調査・研究も行っています。小・中・高校生夏休み福祉体験や手話カフェ、写真展等も実施しています。



定期発行物
「じんざいくんべんり」
偶数月発行

……………[総合プラザとの連携事業]……………

楽しく初めの一步 手話カフェ

NPO法人世田谷区聴覚障害者協会の方を講師に迎え、手話に関する初めの一步を楽しく学ぶ手話カフェを開催しています。令和3年度の開催では、あいさつや数字、指文字等を教わり「コミュニケーションは『手話』『口話』『筆談』『身振り』そしてなにより、『心』が大切」という表情豊かな講師からの言葉に、会場はやさしい空気に包まれていました。

対 象 世田谷区在住の方
開催日 毎月第2火曜 午後2時～午後3時
場 所 ふれあいカフェ うめとぴあ



継続的に通う人も多い手話カフェ

介護の仕事の魅力を自らの言葉で発信 KAiGO PRiDe in Setagaya写真展

専門知識・技術、経験に基づいて、一人ひとりの人生に寄り添い、尊厳を支える介護の仕事。介護従事者への敬意と感謝を表すための写真展を開催しました。ポートレートには、従事者自身の言葉が添えられ、来場者からは「介護の仕事は人々の尊厳を支え、尊くクリエイティブな仕事ということがわかった」という声が寄せられました。

開催期間 令和3年9月6日～10月6日
場 所 ふれあいカフェ うめとぴあ



カフェでお茶を楽しみながら仕事について語り合う様子も

年間90本を超えるオンライン研修 誰でも学べる公開講座も実施

少子高齢社会が進展し、福祉人材不足が深刻ななか、福祉の理解、人材発掘、各種研修、事業所の活動支援等に取り組んでいます。成城から移転し、新たな研修事業の環境が整ったところでコロナ禍となり、事業の実施方法を見直し、研修や就職面接会にいち早くオンライン開催を取り入れました。研修受講者からは、「繰り返し

学べる』『時間を有効に使える』と大好評で、受講者も大幅に増えました。また、ホームページで誰でも視聴できる感染症対策等の公開講座も実施しています。大学・事業者・区民・行政が一堂に会するユニークな「せたがや福祉区民学会」を毎年大学で開催しています。こちらもオンラインで開催したので、ぜひホームページをご覧ください。



世田谷区福祉人材育成・
研修センター長
瓜生律子

<https://setagaya-ninsapo.jp/>

世田谷区認知症在宅生活サポートセンター

認知症になってからも安心して暮らせる世田谷に

認知症になってからも住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる世田谷をめざして、訪問サービスによる在宅支援や介護家族の支援、認知症ケアに関する情報の収集や発信を行っています。あんしんすこやかセンターやケアマネジャー等からの相談や事例検討を通じたスーパービジョン(継続的な訓練で専門的な技術を向上させること)の実施、専門職や区民人材の育成と活動支援も行い、認知症施策の専門的かつ全区の拠点の役割を担っています。

……………[総合プラザとの連携事業]……………

認知症のひと参加者でタスキをつなぐ RUN伴(ランとも)せたがや

認知症の当事者やその家族、関係者、一般の参加者がタスキをつないでゴールをめざすイベントで、世田谷区で初めて開催しました。希望丘公園をスタートし、烏山川緑道を歩いて総合プラザをめざすコースを設定し、近隣のあんしんすこやかセンター等からの参加もありました。

開催日 令和3年10月23日

参加人数 約60人



保健センターのスタッフも準備運動や走行中の運動指導・見守りで連携

地域の認知症ボランティアが企画開催 オレンジカフェ

認知症ボランティアの活動「せたがやオレンジハートアクション(せたOHA)」において企画し、開催しています。誰でも参加でき、地域の人と人をつなぐきっかけづくりにも貢献。医療介護の専門職による身の回りの困りごと等の相談もできます。

対 象 どなたでも

開催日 偶数月開催

場 所 ふれあいカフェ うめとびあ 等



「せたOHA」スタッフと取り組む居場所づくり

支援チームで110の事例に対応 認知症カフェで居場所づくりも

高齢者の4人に1人は認知症またはその予備軍と言われています。令和2年度に当センターの認知症初期集中支援チームが携わった事例は110事例。6か月間の訪問を通して、「認知症のご本人がどのような生活を望んでいるか」といった思いを確認し、住み慣れた地域で暮らし続けるために、早期対応・早期支援を行います。本人が希望するこれからの生活に向

けて、周りの人の理解が求められます。

今後も、地域での活躍が期待される認知症ボランティアグループによる「せたOHA」の活動を支援し、定期的に認知症カフェを開催していきます。認知症の当事者やその家族が安心して出かけられる居場所づくりを通して理解が深まることで、穏やかに暮らし続けられると私たちは考えています。



世田谷区認知症在宅生活サポートセンター管理者
永野富美子



機関誌
「世田谷区にんさぽだより」
年4回発行

世田谷区医師会初期救急診療所

医療機関時間外の応急的な診療を実施

休日や一般の医療機関の診療終了後に、「急に熱を出した」「急に吐いてしまった」などの症状で困っている区民等が利用できる診療所を運営しています。

平日は小児科(15歳以下、中学生まで)のみの診療となり、比較的症状が軽い内科的疾患の症状に対し応急的な診療を行っています。

診療時間(受付時間は終了時間の30分前まで)

月曜～金曜	小児科のみ	午後7時30分～午後10時30分
土曜	小児科・内科	午後5時～午後10時
日曜・祝日・年末年始	小児科・内科	午前9時～正午、午後1時～午後10時



世田谷区休日夜間薬局

夜間や休日に対応する調剤薬局

世田谷区医師会初期救急診療所に隣接し、夜間や休日に対応する調剤薬局を運営しています。処方箋、健康保険証・医療証等を持参した区民等に、処方箋に基づき薬を調剤してお渡ししています。

開局時間

月曜～金曜	午後7時30分～午後10時30分
土曜	午後5時～午後10時
日曜・祝日・年末年始	午前9時～午後10時



東京消防庁世田谷消防署から感謝状

防火に関する広報を積極的に推進していることが評価され、令和3年11月5日に東京消防庁世田谷消防署から感謝状を贈呈されました。令和3年5～6月に消防署・警察署と連携し、防火・防災に関する来館者へのパンフレット配布や呼びかけを行ったほか、日常的にも、災害時や緊急時の対応、振り込め詐欺の対処法等を啓発するパンフレットや掲示物を館内に設置して協力していることが評価されました。

情報紙「うめとびあ通信」

「うめとびあ」の事業やイベント等を紹介する情報紙を近隣住民や町会・自治会等へ配布しています。総合プラザ内や区施設、総合プラザのホームページでも入手できます。令和3年度は2回発行しました。地域の皆さんと「うめとびあ」をつなぐ広報媒体として、多彩な情報を紹介していきます。

